

# 下町河川 Tomorrow

これは東京都の江東内部河川流域連絡会の情報紙（議事録）です。

5月28日（金）

第1回江東内部河川流域連絡会が開催されました。



平成11年5月28日（金）P.M.2:00～、江東区文化センター4階の第2、3会議室において、「第1回江東内部河川流域連絡会」が2時間半にわたり開催されました。

- ・住民委員9名（江東区、墨田区、江戸川区各3名）、行政委員9名の計18名の委員のうち、16名が参加しました。（名簿は6頁）
- ・オブザーバーとして都職員が1名参加しました。

当日は、始めに行政委員から現在の江東内部河川について情報提供があり、次に住民委員の河川に対する意見や思いなどが論じられました。



## 連絡会の議事の概要

### 行政委員の情報提供

行政委員により以下の資料についての説明が行われました。

- 江東内部河川の整備計画の概要、現況整備状況
- 「下町河川の明日を創る会」の概要
  - \* 会の基本理念や各河川の整備テーマ等について
- 河川法改正と新河川法の制度の概要
  - \* 河川法改正の流れ等について
- 東京都水環境保全計画の概要
  - \* 計画の重点施策、パートナーシップづくり等について
- 墨田区、江東区、江戸川区の各河川整備状況
  - \* 墨田区……大横川親水公園の整備状況について
  - \* 江東区……水辺の散歩道整備工事、堅川野外教室等の紹介
  - \* 江戸川区…荒川ロックゲート・ヒル整備計画（建設省）について

注：資料は都民情報ルーム（都庁第一本庁舎3階）、各区の土木担当課で閲覧できます。

### 住民委員の意見・感想

#### 水に親しみたい

- ・ 暮らしの中の身近な河川にするため、またより地域の人に河川を知ってもらうためには、周辺の排水機場や閘門、水門の諸施設を開放することが必要だと思います。これによって住民に理解され、暮らしの中で親しまれる河川へと変化していくと思います。
- ・ 治水ということは私たちにとって非常に大事なことであり、あまり目の前から水の部分をなくしてしまうと、昔の方たちが水と戦い水と共存しながらやってきた歴史のうち、戦いの部分が意識の中からなくなってただ安定である状態が当たり前になってしまいます。また、川はたいへんエキサイティングで船が通るだけでも見ていて楽しいので、川に近付ける仕組みをつくってほしいと思います。

⇒安全柵を設置し、周りのテラスの整備等を行って、見学するのに相応しい形にしていきたいと思います。（行政委員）

## □ 多くの人に知らせてほしい

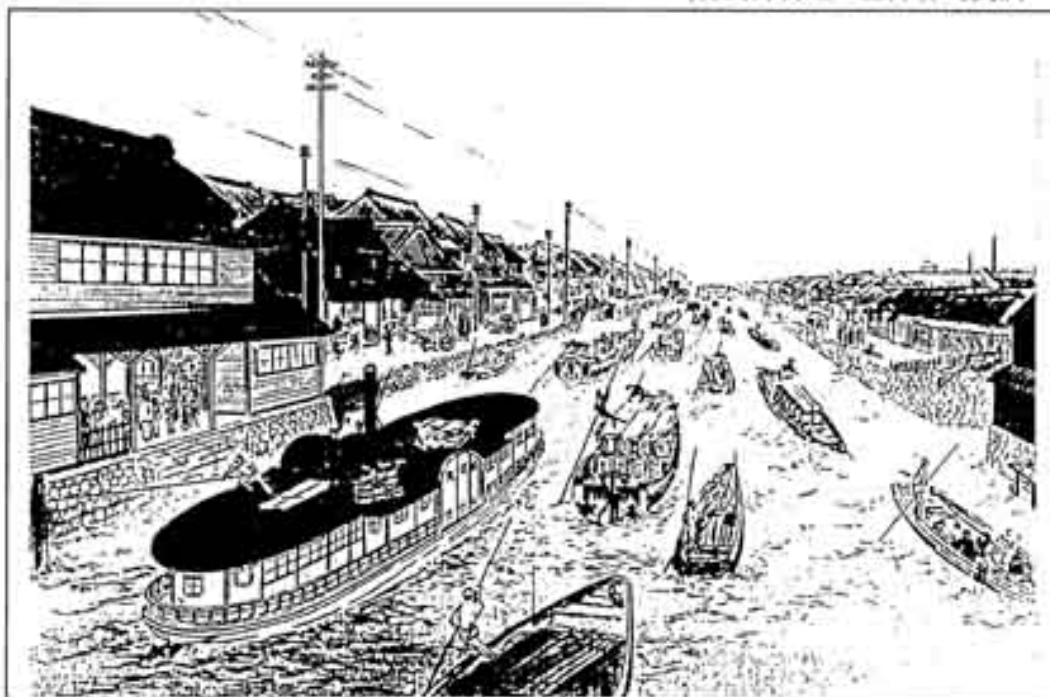
- ・ せっかく扇橋開門を素晴らしいものに作り替えようとしている\*ので、修景計画をパースで示すなど一般住民にわかりやすい形でPRをしてほしいと思います。
- ・ また、一般マスコミが飛びついてくるような工夫等をしてほしいと思います。
- ・ 小名木川では水運を考えているそうなので、昔の蒸気宿\*\*のような、賑やかな町興しにもつながるような行政の計画も期待しています。
- ・ 川は、人々が近付けなくなると衰退していくのだと思います。近付いてみなければ川に何がいるかも分からないし、川を身近に感じられるような河川をつくっていただけたいと思います。
- ・ 現在、環境ホルモン物質についての調査をされているようなので、水質について情報公開してほしいと思います。

⇒環境保全局では、インターネットにより水質だけでなく大気も含めて随時情報提供する形を取っています。(行政委員)

\*「下町河川の明日を創る会」報告概要のパース(P12)は整備のイメージであり、改修計画は未定

\*\*蒸気宿…明治から昭和にかけて利根川水系において運行されていた蒸気船の、旅客の乗降や荷物の積み下ろしなどを行う寄船場と、それに付随する施設の通称名で、高橋(江東区)、行徳(市川市)などにあった。旅宿を営んでいる場合も多く、取扱い貨物について定められた配達区内の集配も行っていた。

(物流博物館 玉井幹司氏調べ)



(須永委員提供)

出典：小名木川(新撰東京名所図会)

### □ 水辺環境について

- ・ 内部河川だけの遊覧船があって、いつ来ても一周すると必ずお花見ができるという計画をたてると、人が呼び込めて地域の振興にもつながると思います。
- ・ 川沿いに四季折々の花があり、船上から楽しめると良いと思います。
- ・ 旧中川の水辺植栽は整備する前の調査とかなり違って、園芸種が多いと感じました。もう少し固有種が復活してくるような手だても考えるべきだと思います。  
⇒指摘して頂いたことについては今後の整備の参考にしていきたいと思います。(行政委員)

### □ 整備の仕方について

- ・ 個々の河川で異なる川幅、雰囲気等の特徴を活かしてまちづくりと連携させた整備を行い、ネットワークとして整備していくことが必要であり、それには水質のさらなる改善や、都民の協力等組織的なものが必要であると思います。
- ・ 人々に親しまれて暮らしの中に生きる川にするには、内部河川は子供から高齢者まで対応する整備をすることが必要です。

### □ 今後の取り組みについて

- ・ 住民側と行政側とのバックグラウンドにある意識の差は、お互いが共有できる情報をひとつひとつ積み上げていくことによって埋めて行くしかないと思います。そしてその情報がいつでも見られるような工夫が必要でしょう。マスコミを使うのもひとつの手段だと思います。我々9名の他にもまだ100万人の各区分民が後ろにいると考えると、我々もそれなりに責任を感じています。
- ・ まちづくりというものは長い年月を要するので、子供、孫の時代を見据えてひとつひとつの意見や情報を根気強く皆が投げかけていき、それを誰でもいつでも見られる形にしておかなければなりません。そしていいところ、悪いところをその時代時代で考えてだんだん変えていき、形あるものにして将来いいものができればいいと思います。

## 連絡会の今後の予定について

- ・連絡会の日程は事前公表とし、原則として公開で行うものとします。
- ・定例の連絡会は年二回程度で、第二回は7月27日の現地見学会、第三回は来年の1月を予定しています。
- ・第二回は、川や施設の現地見学会を行いたいと思います。このときには灯籠流し実行委員会（江戸川、江東）和船友の会（江東）の代表者を臨時委員としてお呼びする予定です。
- ・次回から行政委員として、下水道局からも出席してもらうことになりました。

## 江東内部河川流域連絡会・委員名簿

平成11年5月28日現在  
(敬称略)

住民委員 (9名) ※7位以降	勝田 幸雄 木村 幸一郎 須永 倣子 田中 兼勝 中田 由和 西田 賢 藤井 勇 藤井 達生 増田 レア	江戸川区 墨田区 江東区 墨田区 江戸川区 江戸川区 江東区 江東区 墨田区
行政委員 (9名)	渡邊 正雄 粒 来 堯 新村 義彦 阿部 久人 三浦 紀子 高橋 紀男 石井 幸一 ◎下松 義之 高橋 一之	墨田区土木部工事課長 江東区土木部河川公園課長 江戸川区土木部計画課長 東京都環境保全局水質保全部水質改善担当課長 * 建設局河川部副参事(係留船等対策担当) * * * 副参事(総合治水・能登川防犯計画担当) * * * 第五建設事務所管理課長 * * * 江東治水事務所内部河川工事課長 * * * 江東治水事務所水門管理課長
(お'ザ'ハ'ニ)	浅古 庄一	* 下水道局東部第一管理事務所ポンプ施設課長

◎ 座長

連絡先：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）

担 当：下松、高橋

T E L：(03) 3692-4651 (代) 内線 431 FAX (03) 3692-9955